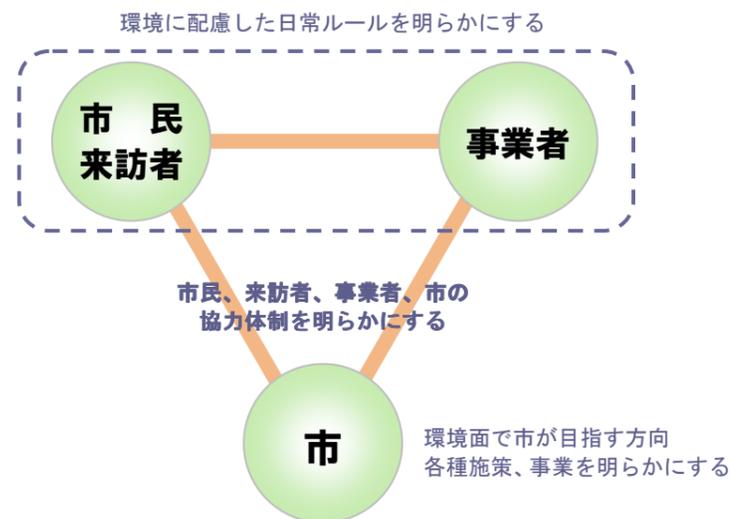


# 南丹市環境基本計画とは

本市の恵まれた環境を守るとともに、健全な環境に回復し、次世代に引き継ぐためには、市民や来訪者、事業者、市それぞれの取り組みと協力が必要です。

本計画は、それぞれの取り組み内容や協力体制を明らかにし、「**南丹市が環境面で目指す**」基本的な方向性を定めるものです。



## 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間とします。

5年間ずつ前期と後期に分け、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、計画内容を見直します。



## 対象とする範囲

本計画は市全域を対象とし、「人づくり」「生活環境」「地域環境資源」「資源循環」の4つの視点から、市域の環境をとらえます。

また、本市は由良川・桂川（淀川水系）の最上流域に位置することから、周辺地域、特に流域への意識、さらに地球環境への意識といった、広域的な視点を合わせもちます。



# 南丹市の環境の課題

本市は、以下のような課題を抱えています。本計画では、これらの課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

## 人づくり

- 市内で行っている環境教育について、情報を把握・共有する必要がある
- 情報を共有する場となるネットワークの形成が必要である
- 環境についての情報やイベントの開催などにより、環境への意識をさらに向上させる必要がある
- 事業者が地域環境保全に取り組む機会や場が必要である



子どもたちによる水辺の観察会  
(八木町西田)

## 生活環境

- ごみのポイ捨て・不法投棄の削減に向けて、意識向上を図るとともに監視を強化する必要がある
- 野外焼却や悪臭の防止に取り組む必要がある
- 生活雑排水、農業排水による河川水質への負荷を軽減する必要がある
- 公害防止協定を締結し、事業活動にともなう環境悪化を未然に防止する必要がある



地域が協力して行う美化活動  
(JR園部駅西口の清掃)

## 地域環境資源

- 豊かな自然環境を保全するとともに、森林更新の停滞や土砂の流出などへの対策を進める必要がある
- シカやサルなどの食害への対策を継続的に進める必要がある
- 貴重な動植物を保全する必要がある
- 自然と触れ合う機会を創出する必要がある
- 日本の原風景的な自然景観や歴史的な町並みを保全する必要がある
- 文化財や文化遺産、地域の伝統を次世代に伝える必要がある



府登録文化財となっている牧山の松明行事  
(日吉町中世木の普門院)

## 資源循環

- 事業系ごみ、家庭系ごみの削減に努める必要がある
- 分別収集、資源回収を推進し、リサイクルを推進する必要がある
- 未利用バイオマスを効果的に活用する必要がある
- 化石エネルギーの需要を削減し、再生可能エネルギーの普及を進める必要がある
- 地下水、ため池などの水環境を保全する必要がある



美山支所の太陽光発電設備